

高知県商工団体連合会 NO.976(53-3)

〒780-8035 高知市河ノ瀬町33

TEL088-832-4838 FAX088-832-3126

Eメール kosityoren@citrus.ocn.ne.jp

ホームページ http://kosityoren.web.fc2.com/

このニュースはホームページでもご覧になれます

# 高商連ニュース

## 衆院選で政権交代! コロナ支援拡充・消費税減税 インボイス実施中止の実現を!

**中村** 1週間で読者5人、**会員**1人、**共済**1人の拡大

東谷県連会長は、幡多出張に合せて、中村民商船口会長、小野共済理事長と読者のスナックを訪問。共済に加入したいとの要望もあり入会に。

東谷会長は土佐清水の知りあい、取引先3人にも読者になってもらいました。

事務局の山本さんは、飲み友達に商工新聞をすすめ拡大。

中村民商は昨年同時期、拡大が全てゼロでしたが、今年は早々にゼロを脱出しています。

9/26 現在	読者	会員	共済			婦人	青年
			総加入者	民商会員	配偶者		
安芸	-2	-1	+2	+1	+1	-3	0
香美郡	+12	+2	-7	+1	-2	-5	0
南国	-2	-4	-2	-4	0	-1	0
高知	+2	-16	-57	-25	-11	-13	-2
仁淀川	-7	-2	-4	-2	-1	-3	0
須崎	+4	-7	-6	-3	-3	-5	0
中村	-23	-3	-7	-2	-1	-1	0
計	-16	-31	-81	-34	-17	-31	-2

9/26 現在	拡大					成果会員
	読者	会員	共済	婦人	青年	
安芸	0	0	2	0	0	0
香美郡	3	0	0	0	0	3
南国	3	1	1	0	0	3
高知	9	7	1	0	0	4
仁淀川	0	0	0	0	0	0
須崎	1	0	0	0	0	1
中村	7	2	2	0	0	4
計	23	10	6	0	0	15

成果会員: 読者か会員を拡大した会員(紹介含む)

仲間増やしの2つの目標=①読者、会員、共済、婦人、青年で前回全国総会時現勢を突破する。②読者で10%、会員で5%増勢にする(前回総会時比)。

### 大変助かる! 無料法律相談会

県連主催の法律相談会が毎月開催され、香美郡民商からは、これまで6名が相談しています。

Aさんは、家族が急逝したことで、相続で困っていました。「弁護士さんからたくさんアドバイスをお願いしたい」と相談していただきました。

Bさんは、親の介護をめぐるとらぶるで相談。「法的にいろんなアドバイスを頂いて助かりました。結果、成年後見制度の活用をすすめられました」と今後の方針にめどがつかさうです。

Cさんは離婚調停の相談で2回目。弁護士さんから、養育費について、裁判所の相場でなく「この先お子さん

を育てていくうえで必要な額を請求すべき」とアドバイスを受け、「精神的にきつい、あきらめてしまいたい」と弱

気でしたが、「今後のことを考えてもう少し頑張ってみます」と励まされています。

みなさんそれぞれ複雑で切実な悩みを抱えています。今までにいろんないきさつがあつて、言いたいことがたくさんあります。

無料相談をさせていただいている、高知法律事務所近藤恭典弁護士も相談者に寄り添い、解決方法をわかりやすく、ていねいに教えて

いただきます助かっています。周りで悩んでいる方がいたら、ぜひご紹介ください。(9/27香美郡民商会報)

### 総会での広田一 衆議院議員の

#### ご挨拶②



今、街頭で私広田一が訴えている事、それは、政府のコロナ対策を転換していかなければならぬという事であります。今のままの対策が続きますと助かるはずの命も助からない。守れるはずの健康も守る事が出来ない。そして続けられるはずのご商売も続ける事が出来ない。今そういった深刻な状況になっております。

高知県でも感染が高止まりです。そして今284名の方が自宅療養、そして在宅療養を余儀なくされております。すなわち本来受けるべき治療を受ける事が出来ない方がこんなにもいらっしゃるんです。

全国では自宅療養中に亡くなる方も後を絶ちません。そして私広田一の一先議員である羽田雄一郎参議院議員はPCR検査さえ受ける事が出来ずに53歳でコロナで命を落とされました。こういった方々も本当に後を絶ちません。1年半以上経つてこういう状態が続いております。

今の対策を転換していかなければなりません。そしてその為にはまずコロナ予算の使い方は問題点が多すぎます。アベノマスクに430億円使

う予算があるのであれば、なぜ国産のワクチン開発、国産の治療薬の開発にもっと予算を使つていけないのか。ちなみに文科省の国産の治療薬の開発予算は50億円。アベノマスクの8分の1以下であります。こういった予算の使い方をしているコロナに打ち勝つ事など出来ません。政治を変えるとは予算の使い方を考える事でありませ

す。もっと科学的に、もっと国民の皆さんの立場に立った、もっと事業者に寄り添ったそんなコロナ予算に転換をしていかなければなりません。

そしてまた今国民の皆さんはコロナ対策については与野党は関係無い。お互い知恵出し合つて協力し合つて進めて欲しい、そういう思いです。そういう思いを受けて、野党は共同して31本の法律案を提出しております。

ひとり親家庭、生活困窮者の皆さんを応援する法案。学生の生活を支援する法案。医療介護そして障がい者福祉、保育で働くエッセンシャルワーカーの皆さんの処遇改善をする法案。持続化給付金、家賃支援給付金をもっと使い勝手を良くして再給付をする法案。

更には今観、光関連産業は大変です。そういった皆さんを応援する観光関連持続化給付金法案。そういった法案を国会に提出しています。しかしながら、今の政府与野党はつと国会開かないままです。

(つづく)

**無料法律相談会(第4回)**  
(近藤恭典弁護士/高知法律事務所)  
**10月18日(月)**  
**午後1時~3時**  
○申込は各民商事務局にしてください。

**県議補欠選挙 安田節子候補大善戦**  
9月12日に投票された、高岡東地区県議補欠選挙では、候補者の力、「女性の会」、後援会・共産党、野党共闘の力が結び付き、当選まであと一歩に迫る大善戦でした。  
民商としても支援を決定し会員と対話。「政権変わってほしい」「女性候補に入れる」「4人くらいに支持を訴える」などの好反応でした。  
(9/20「須崎民商だより」より)